

カムバックチュウヒプロジェクト

繁殖地復活の願いを込めて



2018年5月27日
日本野鳥の会大阪支部
カムバック チュウヒ PT

草原や湿地に生きるタカ チュウヒ

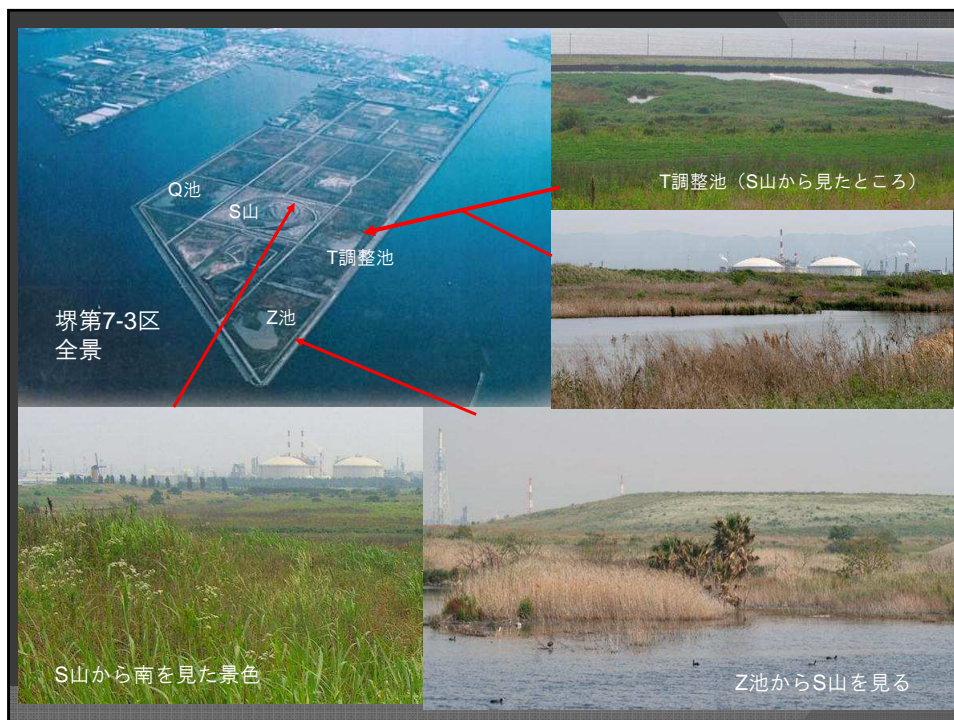


調査地(堺7-3区)の概要

- ◎ 産業廃棄物の広域的総合的処理を目的に1974年以降、1994年までの20年間にわたり面積280ヘクタールに及ぶ海面の埋め立てが行われ造成された土地
- ◎ その後2004年までの10年間、管理型廃棄物と安定型廃棄物による陸上埋立処分が行われてきた
- ◎ 裸地から草地への変遷、沈下による湿地の出現などを通じ、チュウヒなどの草原環境を好む野鳥の生息地となっている



7-3区のうち、約100haが「共生の森」として位置づけられ、現在、市民・NPO等の参加による森づくりが2004年よりスタートしている。



大阪で初めて繁殖を確認

2006.6.20

Tポンドつがいの巣を調整池内のアシ原の中で発見。20日齢程度のヒナが1羽巣の上にあった。



猛禽類が生きていくための条件

- ◎ 餌となる生きものがたくさんいること
- ◎ 広い面積で自然が残されていること
- ◎ 人間活動による邪魔が少ないこと

チュウヒ保護の課題

- 市民やNPO、企業などが参加した「共生の森」づくりが2004年からスタート
- 湿地部とその周辺は、そのまま手をつけずに野鳥の生息できる環境を残すことになっているが、面積は約50haしかなく、チュウヒの生息には不十分
- 今後、「共生の森」の事業の中に、チュウヒの重要性をしっかりと位置づけし、チュウヒの保護のために草地環境の保全を図っていくことが必要
- 堺シャープ工場の建設による餌場（堺2区埋立地）の消失
- 関西電力によるメガソーラー発電所の設置 生息地の大改変



チュウヒの生息(繁殖)環境を保全するために(提言)

- 生息エリアの確保と多様な草地・湿地環境の創出
 - 残された湿地環境と草地環境の維持、保全
 - 植物遷移による森林化を避けるために定期的に草刈や低木の伐採を行う
 - ヨシ原の適正な管理を行う。営巣場所として利用可能なヨシ原は、水位調整を人為的に行えるようにする。
 - 多様な生き物が生息できる環境の創出
Z池、Q池を生き物のあふれるビオトープとする。
池の形状を緩傾斜とし、水鳥の採餌や休息の場として利用できる泥湿地を創出する。



チュウヒのくらしを支える生物の多様性を確保

ソーラーパネルの設置



カムバック・チュウヒ プロジェクト始動

- チュウヒ繁殖のためには、ヨシなど背の高い草の生える湿原が必要であり、共生の森Zポンド、Qポンドが候補地となります。今回Qポンドから、湿原に生えている高木を切り、チュウヒが飛びやすい環境を作ろうというのが今回の目的です。大阪府の許可を得、2011年9月下見に続いて、10月2日午後、初めての樹木伐採を行いました。

チュウヒの繁殖地を守るために①

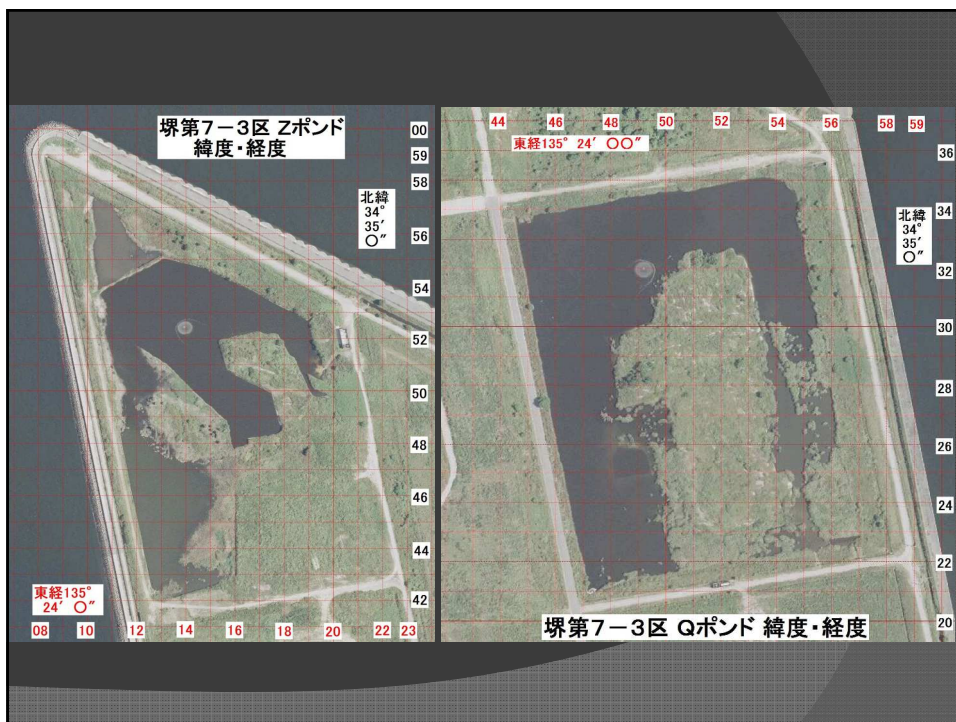
(湿原・草原の維持・拡大)

1. 湿原・草原にはチュウヒなどを頂点とする独自の生態系がある
2. 生物(生態系)多様性のため、湿原・草原を守る必要がある
3. 開発のみならず、自然遷移が湿原・草原の消失に拍車をかけている
4. 湿原・草原を維持のため、自然遷移をストップさせる必要がある

チュウヒの繁殖地を守るために②

(樹林と湿原・草原)

5. 現在日本の森林面積は変化していないが、森林資源量は、高レベルにある(但し、質的に問題あり)
6. 木を植えることを否定するわけでないが、湿原・草原を減らして森を作る)ことは、生物多様性面からはマイナスである
7. 堺第7-3区共生の森はチュウヒ繁殖を継続させることを最重点に、湿原・草原の維持(できれば更に拡大)すべきである
8. チュウヒ繁殖は大阪府として生物多様性アップのシンボルとなるトピックスである
9. 企業は木を植えることのみでなく、草原の維持に対し生物多様性の価値を評価してほしい



ニセアカシア林の伐採前、伐採後の推移を先月報告にプラスし、写真3枚で示した。季節が変化し、落葉したこともあるが、ニセアカシアの殆どが伐採され、残るはあと2本のみとなった。

ニセアカシア林(11/11伐採前)

ニセアカシア林(12/9伐採後)

ニセアカシア林(1/20伐採後)

サボート中(電動ノコの刃を研ぐ)

高木切断中

低木伐採中

玉切り中



2012.01～2012.02
伐採作業



2013.02.12
伐採作業



2014.11.11 伐採作業



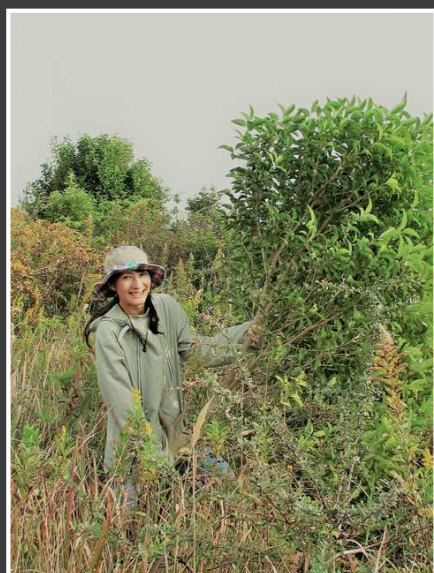
伐採前



伐採後



2016.11.15
伐木・除草(1)



2016.11.15



伐木・除草(2)



2016.11.15
鳥類調査



2016.12.20の出現状況(1) 写真：福田



2016.12.20の出現状況(2) 写真：福田



2016.12.20の出現状況(3) 写真：福田



2016.12.20の出現状況(4) 写真：福田



2016.12.20の出現状況(5) 写真：福田



2016.12.20の出現状況(6) 写真：福田



2016.12.20の出現状況(7) 写真：福田



2016.12.20の出現状況(8) 写真：福田



2016.12.20の出現状況(9) 写真：福田



2016.12.20の出現状況(10) 写真：福田



2016.12.20の出現状況(11) 写真：福田



2016.12.20の出現状況(12)

写真：福田



(写真 吉田)



2017.03.21 鳥類調査
採餌のための飛翔 6回確認

同時期の飛翔確認
03.17 淀川中津
02.20 南港野鳥園



2017.11.12 排他的ディスプレイ(1) 桐山



2017.11.12 排他的ディスプレイ(2) 桐山



2017.11.12 排他的ディスプレイ(3) 桐山



2017.12.19 チュウヒ (1) 吉田



2017.12.19 チュウヒ (2)

吉田



2017.12.19 チュウヒ (3)

吉田



2017.12.19 チュウヒ (4)

吉田



2017.12.19 チュウヒ (5)ネズミを啜える? 吉田



2018.03.20
腰の白い個体



2018.03.20
尾の白い個体